八戸	工業高等	専門学校	開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科	4目 英語	吾 I C((0250)	
科目基础			,	1					,	
17日					科目区分	— 舟	 设 / 必修			
授業形態		講義				位数 履修単位: 1				
開設学科		産業シス ース	ステム工学科環境都で	市・建築デザインコ	対象学年		1			
開設期		秋学期(3rd-Q)	Q)		3rc	3rd-Q:4			
教科書/教				munication I , DU	AL SCOPE English	nglish Grammar in 27 stages, Listening Platform 1				
担当教員		岡田 みり	ゆき,小原 敏和							
到達目										
だことを	発展させる	書くという4 形で、基礎的	↓技能を統合的に活り 対な文法・語法・語:	用できるコミュニケ 彙などを積み上げる	ーション能力の育成 とともに、実践的に	成がこの科 こ英語を理	目の大きな 解したり表	柱とな 現した	っている。「 りする力を身	□学校で学ん }につける。 -
ルーブ!	リツク		TM+0+6+> 70>+1	····· • □ □ □ (/Ē)	1#2#45+27D#1 - 2	»u o O d	·4\ 4	7:1\± 1		
評価項目 中学レベ いている	ルの文法や	語彙が身にて	理想的な到達レ 中学校レベルの 80%を理解し、 できる。		標準的な到達レベルの目安(良) 中学校レベルの基礎的な英語を習得し、文法・語彙などを60%以上 理解できる			未到達レベルの目安(不可) 中学校レベルの基礎的な文法や語 彙の理解が60%を満たさない		
評価項目 話の流れ 量の英文		まとまった る。	_ あっても文脈の	英文を、未知語が 中で内容を理解し らすじを十分に推	まとまった量の英文を未知語があ っても文脈の中で内容を理解しよ うと努める。			まとまった量の英文を文脈から理 解しようと努力しない。		
評価項目	3									
学科の	到達目標」	頁目との関	 月係							
		DP5 O ディ	プロマポリシー DI	P6 ◎						
地域志向										
教育方法	法等									
概要	【開講学期】春学期週4時間 英語でコミュニケーションを取るのに必要な文法・語彙を学び、読んだり聞いたりする英語の幅を広げる。また だことを使って、書いたり話したりするための表現の幅を広げる。							また、学ん		
授業の進	め方・方法	えを他人 基本例文	、が分かるように伝え ての暗唱小テストを約	語彙や文法を学び、/ える機会を多く持つ。 継続することで、英 で授業を行い、文法	よう工夫する。 語で考えたり実際に	こ発音する	機会を多く	ニケー: 持つよ	ションを図り うにする。)、自分の考
注意点		る。 授業には	:授業に参加する意名 は辞書を持参させ、B g Platformの利用に	欲を持つことが求め 辞書を活用する機会 は課題中心となる。	られる。また、提出 を持つことで辞書に	出課題は遅	滞なく全て 、自立した	提出さ 学習者	れるよう、其 に育てること	限を確認すると
授業の原	属性・履何	多上の区分	}							
	ティブラーニ		□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応			実務網	経験のある教	員による授業
授業計画	画									
		週	授業内容		j	<u></u> 週ごとの到	」達目標			
			Big Dipper: Lesson 7			<u> </u>				
後期		1週	Dual Scope Lesso	on 23-24 関係詞]	関係詞を使って2文を1つにまとめることができる。 新聞記事を読み、日本の観光地が抱える問題を理解す				
		2週	Big Dipper : Less Dual Scope Less	son 7 on 25, Extra Lesso	の 関係詞 おおり ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま			できる。whatを使うこと ———		
		3週	Big Dipper : Less Dual Scope Less	son 8 on 26 仮定法(1)		Kazu Hiroがどのように夢を叶えたの 仮定法ルールと、それらが使われる*				
	3rdQ	4週	Big Dipper : Less Dual Scope Less	Dipper: Lesson 8 I Scope Lesson 27 仮定法(2)		プレゼンの内容を読み、話し手が伝えたいことを理解する。 様々な形の仮定法を知り、理解できる。				
		5週	Big Dipper : Less Dual Scope Extr	Dipper: Lesson 9 al Scope Extra Lesson 話法、否定		ゴミの再利用の新しい形について知る。 直接話法と間接話法を適切に使うことができる。否定 の様々な表現を理解できる。				
		6週	Dual Scope Extra	- Dipper: Lesson 9 al Scope Extra Lesson 無生物主語・名詞中心		様々な人の意見を読みそれぞれの主張を理解する。 英語特有の無生物主語の文と日本語との関係を理解で				
		7週	表現 Review	· •		きる。 学習した単語・表現を復習し定着を図る。 関係詞、仮定法、話法、否定、無生物主語の使い方(吾の使い方に	
		2)5	'			慣れる。				
		8週	到達度試験							
	コアカリ	1)学習内容と到達	T					1	
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目					到達レベル	授業週
基礎的能力				聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。						
	力 人文・	社会 英語	英語運用の 基礎となる 知識	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができる クセントの規則を習得して適切に運用でき 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語 切な運用ができる。		用できる。				
						学校学習	指導要領に	準じた	[

			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。				2	
			日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。				2	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。				2	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。				2	
		力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。				2	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。				2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。				2	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。				2	
		汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。				2	
			他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。				2	
汎用的技能	 汎用的技能		他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。					
ממאנניינו ונויי	אארניינו ווייי		日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。					
			円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。				2	
試験	1 7		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	計
70	3	30	0	0	0	0	10	10
70	3	30	0	0	0	0	10	0
0	C)	0	0	0	0	0	
カ 0	c)	0	0	0	0	0	
	武験 70 70 0	試験 70 3 70 3 0	A用的技能 汎用的技能 汎用的技能 試験 提出物・小テスト 70 30 70 30 70 30 0 0	日常生活や身近な語で話さる。 日常生活や身近な語で話さる。 日常生活や身語で話さきる。 日常生活で身語で話されて英語で記述できる。 日常生活で身話ができる。 日常生活や身話ができる。 マ易な英語できる。 日常生活やりができる。 マ易な英語できるができる。 日常生活やりができる。 マ易な英語できる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりがいることができる。 日常生活やりができる。 日常生活やりができる。 日常生活であれる。 日常生活やりができる。 日常生活やりがいることができる。 日常生活やりが、ことができる。 日常生活が、ことができる。 日本生活が、ことができる。 日常生活が、ことができる。 日常生活が、ことが	日常生活や身近な話題に関して、毎分りとした発音で話された内容から必要きる。 日常生活や身近な話題に関して、自分現を用いて英語で話すことができる。説明や物語などの文章を毎分100語程ように音読ができる。日常生活や身近な話題に関して、自分100語程度のまとまりのある文章を英母国以外の言語や文化を理解しようと面で積極的にコミュニケーションを図実際の場面や目的に応じて、基本的な(ジェスチャー、アイコンタクト)を適日本語と特定の外国語の文章を読み、他者とコミュニケーションをとるためできる。他者が話す日本語や特定の外国語の内日本語や特定の外国語で、会話の目標なごとができる。円滑なコミュニケーションのための態づち、繰り返し、ボディーランゲーシー・対験を関して、自分はの話では、基本のは、ディー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェ	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手ように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必を読み取ることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことがで母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、面で積極的にコミュニケーションを図るごとができる。実際の歯や目的に応じて、基本的なコミュニケーションを図るでとができる。実際の歯や目的に応じて、基本的なコミュニケーションを図面で目があることができる。に対しい文章を記述できる。とびエスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握で他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定のいて、基本的なコミュニケーションをとるために日本語や特定のいて、基本的なコミュニケーションをとるために日本語や特定のいて、基本的なコミュニケーションをとるために日本語や特定のいて、基本的なコミュニケーションをとるために日本語や特定のいて、基本語できる。日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話をることができる。円滑なコミュニケーションのための態度をとることがでつち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。 「試験 提出物・小デス」相互評価 態度 ポートフォリオ 70 30 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 中常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきっとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 現を用いて英語で話すことができる。 コッパの基礎回数